
日本連邦軍最新兵器解剖

0 0 7

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

日本連邦軍最新兵器解剖

【Nコード】

N8051F

【作者名】

007

【あらすじ】

第二部でもやります。兵器解剖です。早紀様・亜由美様・喜恵様と説明していきます。あくまで兵器解剖ですから物語ではありません。本編の方もよろしくお願いします。

イージス原子力機攻戦艦長門級

作者

「いやはや、第二部でも始まりました。兵器解剖です。」

早紀

「ねえ、ちよつといい?」

作者

「何でしょうか?」

早紀

「何故に、連合艦隊の兵器解剖なのに私が出るの?」

作者

「連合艦隊の艦魂は出ませんから」

早紀

「ふん、そうなの。」

作者

「そうです。」

早紀

「じゃ、早く説明しなさい。」

作者

「了解いたしました。ではどうぞ。」

イージス原子力機攻戦艦長門級

全長450メートル

全幅85メートル

速力38ノット

武装46センチリニアガン連装4基8門

烈火対艦ミサイル10連装発射機50基

鳳火巡航ミサイル10連装発射機50基

VLS式スタンダードSM3無閘対空ミサイル300セル

桜花対空ミサイル10連装発射機20基

風火近接対空ミサイル10連装発射機20基

天雷対潜ミサイル10連装ランチャー10基

30ミリCIWS20基

搭載機雷電ステルス垂直離艦戦闘攻撃機10機

彗星哨戒ヘリコプター10機

満載排水量183500トン

同型艦長門・陸奥・伊勢・日向・扶桑・山城・金剛・榛名・霧島・
比叡

特殊装備シンドリカルバウ・バウスラスター・イージスシステム・
タイタン・魔射・天神・タイタンエネルギー投射パラボラアンテナ・
軍神・荒神

作者

「以上がイージス原子力機攻戦艦長門級の概要です。」

早紀

「バカデカイわねえ」

作者

「大丈夫です。造船学上は安心です。」

早紀

「ふん、ならいいわ。」

作者

「ありがとうございます。」

早紀

「ちょっといい？」

作者

「何でしょうか？」

早紀

「タイタンって何？」

作者

「ああ、タイタンはフィラデルフィア空間移動機関の最新版です。」

早紀

「どれくらい空間移動出来るの？」

作者

「最大で、地球の反対側まで空間移動出来ます。」

早紀

「凄いわね。」

作者

「ありがとうございます。」

早紀

「じゃ、魔射は？」

作者

「魔射とは軍事用探査衛星『天空』とリンクして行っ、精密射撃システムです。」

早紀

「ふん。衛星リンク射撃は凄い命中率が期待できるわね。」

作者

「はい。」

早紀

「じゃ、天神は？」

作者

「天神は大規模情報処理システムです。」

早紀

「それじゃ、軍神は？」

作者

「軍神は軍事情報処理システムです。」

早紀

「天神と軍神の違いは？」

作者

「うーん、これと言って違いはないですが。しいて言うなら通常情報と軍事情報の処理するのを分けたぐらいですかね。」

早紀

「荒神は？」

作者

「荒神は自動迎撃システムです。」

早紀

「ほお、やるわね。」

作者

「はい。」

早紀

「イージスシステムは？」

作者

「イージスシステムは500の目標を捕捉し、500の目標全てに対処が可能です。」

早紀

「じゃあ、500の航空機が向かってきたら500全て撃墜出来るのね。」

作者

「そうです。」

早紀

「凄いわねえ」

作者

「大丈夫ですよ。早紀様の方がゴツイですから。」

早紀

「本当？」

作者

「勿論です。」

早紀

「よくやった。」

作者

「ありがとうございます。」

早紀

「じゃあ帰りますか。」

作者

「了解いたしました。では。」

早紀

「ちよつとまで！……！」

作者

「何ですか？」

早紀

「イージス原子力機攻戦艦長門級の機攻って何？」

作者

「ああ、機攻とは。圧倒的な機動力と攻撃力を併せ持った艦と言うことです。」

早紀

「それで、機攻ね。」

作者

「はい。」

早紀

「よし、次こそバイバイ」

イージス原子力空母赤城級

亜由美

「さて、作者。説明を始めろ。」

作者

「了解いたしました。それでは。」

イージス原子力空母赤城級全長380メートル

最大幅80メートル

速力38ノット

武装桜花対空ミサイル10連装発射機6基

風火近接対空ミサイル8連装発射機6基

搭載機陣風ステルス戦闘機50機

流星ステルス攻撃機50機心神ステルス攻撃機30機彩雲ステルス

電子攻撃機30機

天山早期警戒機15機

邪鬼Z戦闘ヘリコプター30機

彗星哨戒ヘリコプター30機

深山大型輸送ヘリコプター5機

春嵐輸送ヘリコプター5機満載排水量15300トン

同型艦赤城・加賀・蒼龍・飛龍・翔鶴・瑞鶴・大鳳・葛城・天城・

雲龍・伊吹・富士・阿蘇・生駒・瑞鳳・隼鷹・飛鷹・千歳・千代田

特殊装備シリンドリカルバウ・バウスラスター・アングルドデッキ・
電磁カタパルト・イージスシステム・タイタン・天神・軍神・荒神
日本海軍の最新鋭空母である

亜由美

「ねえ、作者。」

作者

「はい、何ですか？」

亜由美

「本編だけど、いつになったら第三次世界大戦は始まるの？」

作者

「うーん、第5話がCIAが入手した情報についての国家安全保障
会議でしょ、第6話、第9話が国際連邦総会ですから……………」

亜由美

「？」

作者

「第10話が第11話のどちらかですね。」

亜由美

「しょうがないわね、ある日突然第三次世界大戦が勃発する分けないもんね。」

作者

「ありがとうございます。」

亜由美

「いいのよ、頑張つてよね。」

作者

「はい、頑張ります。」

亜由美

「それじゃ、また。」

イージス原子力空母赤城級（後書き）

搭載機は突っ込み所まんさいですが、航空機の解説は艦船の次ですからお待ちください。

1・艦船

2・航空機

3・戦闘車輜

4・その他

という順番でお送りします。

よろしくお願いします。

イージス原子力巡洋艦鈴谷級

喜恵

「作者さん、説明をお願いします。」

作者

「はい、分かりました。どうぞ、」

イージス原子力巡洋艦鈴谷級

全長330メートル

最大幅45メートル

速力38ノット

武装20センチリニアガン単装2基2門

烈火対艦ミサイル8連装発射機20基

鳳火巡航ミサイル8連装発射機20基

VLS式スタンダードSM3無閘対空ミサイル250セル

天雷対潜ミサイル8連装ランチャー4基

風火近接対空ミサイル8連装発射機6基

25ミリCIWS6基

搭載機彗星哨戒ヘリコプター3機

満載排水量28500トン同型艦鈴谷・利根・筑摩・名取・三隅・

由良・熊野・川内・妙高・羽黒・羽後・青葉・加古・衣笠・古鷹・

夕張・北上・大井・長良・愛宕・神通・岩代・摩耶・野分・五十鈴・

那智・多摩・阿武隈・矢矧・能代・大淀・足柄・酒匂・浅門・平戸・

鹿島・神威・木曾・香椎・鬼怒・大淀・香取・伊賀・安芸・吉野・

浪速・高千穂・出雲・吾妻・春日・日進・朝日・初瀬・能登・敷島・

相模・筑紫・音羽・球磨・通賀・周防・肥前・遠江・上総・陸中

特殊装備バルバスバウ・イージスシステム・タイタン・魔射・天神・

軍神・荒神

喜恵

「作者さん、早く私も本編に出たいです。」

作者

「もう少し待ってください。」

喜恵

「ぶ」

作者

「（可愛い）」

喜恵

「早くしてくださいよね」

作者

「勿論です。」

喜恵

「じゃ、バイバイ。」

イージス原子力巡洋艦鈴谷級（後書き）

日本連邦軍最新兵器解剖も今年最後の更新です。
来年もよろしくお願いします。

イージス原子力駆逐艦新世界級

早紀

「説明を始める！！！！」

作者

「了解いたしました。」

イージス原子力駆逐艦新世界級

全長250メートル

最大幅30メートル

速力38ノット

武装13センチリニアガン単装1基1門

烈火対艦ミサイル4連装発射機10基

鳳火巡航ミサイル4連装発射機10基

VLS式スタンダードSM3無閘対空ミサイル200セル

風火近接対空ミサイル8連装発射機4基

20ミリCIWS4基

搭載機彗星哨戒ヘリコプター2機

満載排水量18500トン同型艦新世界・別世界・異世界・新天地・

楽天地・赤松・黒松・唐松・段松・五葉松・蝦夷松・大松・白絵曾・

輝花・秋花・戦花・厳花・極花・究花・麗花・彩花・海花・空花・

山花・雲花・紫花・白花・黒花・夜花・朝花・日花・月花・梅花・

松花・竹花・風花・嵐花・雷花・電花・文月・艶月・長月・水無月・

秋月・涼月・照月・初月・黒潮・早潮・夏潮・荒潮・満潮・朝潮・

大潮・北天・南天・西天・東天・晴天・好天・曇天・雨天・子宗・
布袋・黒竹・真竹・夏竹・秋竹・春竹・冬竹・笠竹・根竹・煮竹・
北海・東海・西海・南海・春海・夏海・秋海・冬海・夕鶴・白鶴・
紅鶴・黒鶴・青鶴・雪鶴・空鶴・海鶴・山鶴・雷鶴・風鶴・寒鶴・
嵐鶴

特殊装備バルバスバウ・イージスシステム・タイタン・魔射・天神・
軍神・荒神

作者

「以上です。」

早紀

「よし、これと言った説明はないから終わり。」

作者

「了解いたしました。」

原子力強襲揚陸艦東京級

亜由美

「説明を開始しろ。」

作者

「了解いたしました。では。」

原子力強襲揚陸艦東京級

全長300メートル

最大幅50メートル

速力38ノット

武装桜花対空ミサイル8連装発射機6基

風火近接対空ミサイル8連装発射機6基

20ミリCIWS6基

搭載機邪鬼Z戦闘ヘリコプター20機

紫電テイルローター輸送ヘリコプター10機

春嵐輸送ヘリコプター10機

深山大型輸送ヘリコプター10機

雷電ステルス垂直離艦戦闘攻撃機15機

満載排水量68500トンLCCAC4隻

戦車20輜

装甲車15輜

自走リニアガン15輜

自走口ケット砲10輜

水陸両用強襲車10輜

トラック50輜

補給車25輜

揚陸軍1個師団

以上を搭載可能

同型艦東京・大阪・札幌・神戸・京都・青森・森岡・秋田・仙台・
山形・福島・水戸・宇都宮・前橋・埼玉・横浜・千葉・新潟・長野・
甲府・静岡・富山・岐阜・名古屋・金沢・福井・大津・奈良・和歌
山・徳島・高松・松山・高知・岡山・鳥取・松江・広島・山口・大
分・福岡・佐賀・熊本・宮崎・鹿児島・長崎・那覇・姫路・明石・
天理・呉・旭川・帯広・八戸・弘前・十和田・五所川原・水沢・二
戸・石巻・佐世保・岩沼・白石・角田・大曲・酒田・米沢・上山・
長井・村山・原田・日立・日光・川口・戸田・日高・町田・長岡・
小松・小浜・豊田
特殊装備バルバスバウ・タイタン・天神・軍神・荒神

亜由美

「作者、お前ものろけすぎだ。」

作者

「すいません。」

亜由美

「ちよつと、好きな女の子から年賀状が来たからって喜びやがって。」

作者

「すいません。」

亜由美

「彼女がいるくせに。」

作者

「うっ、それについては……………」

亜由美

「もしかして、別れたのか？」

作者

「はい。」

亜由美

「……………」

作者

「普通の友達でいようと。」

亜由美

「まあ、良いじゃないの？」

作者

「そうですよね、私も気にしていませんよ。」

亜由美

「何故？」

作者

「別れたのは2回目ですから。」

亜由美

「全く。」

作者

「まあ、フリーになってゆっくりしましょう。」

亜由美

「そうね。」

作者

「はい。」

亜由美

「それで、好きな女の子から年賀状が来たから喜んでいたのか……

……」

作者

「……………」

亜由美

「まあ、気にしない。」

作者

「はい。」

亜由美

「それじゃあ、またね。」

原子力潜水艦海龍級

喜恵

「作者さん、説明を開始してください。」

作者

「了解いたしました。では」

原子力潜水艦海龍級

全長230メートル

最大幅25メートル

速力（水上）45ノット

（水中）48ノット

武装750ミリ音響ホーミング魚雷発射管12門

VLS式スタンダードSM3無閘対空ミサイル20セル

VLS式鳳火巡航ミサイル20セル

満載排水量（水上）38500トン

（水中）43000トン

同型艦海龍1～海龍50

特殊装備タイタン・天神・軍神

旧海龍級は核弾道ミサイルセルを装備していたが、新型海龍級は巡航ミサイルセルに更新して、対地攻撃能力を上昇させた。

喜恵

「作者さん、本編の方は大丈夫ですか？」

作者

「うーん、何とか大丈夫ですね。」

喜恵

「昨日、またしても更新が止まりましたけど？」

作者

「うっ……………」

喜恵

「まあ、頑張ってください。」

作者

「はい、ありがとうございます。」

喜恵

「それじゃあね。」

陣風ステルス戦闘機

早紀

「あれ？今回は航空機なの？」

作者

「そうですね、連合艦隊を解説してから連合艦隊空母の搭載する戦闘機・攻撃機・電子攻撃機・早期警戒機を解説して、第七独立機動艦隊と第八特務機動艦隊を解説し、第七独立機動艦隊と第八特務機動艦隊の空母の搭載する戦闘機・攻撃機・電子攻撃機・早期警戒機を解説。その後に空軍の航空機、陸軍戦闘車両、各種支援機・支援車を解説していきます。」

早紀

「ふーん、まあいいわ。早く解説して。」

作者

「了解いたしました、では。」

陣風ステルス戦闘機
全長20メートル

全幅15メートル

最大速度マッハ3・5

巡航速度マッハ2・5

武装30ミリガトリングガン1門

ウエポンベイ内蔵兵器

長距離桜花改空対空ミサイル10発

JDA M500X誘導爆弾5発

CVXクラスター爆弾5発 航続距離8800キロ

実用上昇限度19500メートル

乗員1名

アメリカの開発したF25レックス（F22ラプターの発展改良型）
に対抗するために開発した第6世代戦闘機である。

ステルス性・戦闘能力・機動力・スピード全てにおいてF25レックスをしのいでいる。

ステルス能力は完全にレーダーに写らない。

早紀

「なかなかの戦闘機ね。」

作者

「確かにそうですね、ステルスも完璧ですし戦闘能力も素晴らしい
ですからね。」

早紀

「でも、私達の艦隊に配備されている航空機の方が凄いのね？」

作者

「そうです、流石は早紀様。よくお分りで。」

早紀

「やっぱり2034年にもなればステルスも完璧になるよね。」

作者

「そうです、それ位になればステルスも完璧になるだろうと思います……」

早紀

「まあね、その年代ならいけてるかもね。」

作者

「そうですね。」

早紀

「そうよ。」

作者

「ありがとうございます。」

早紀

「それじゃ、またね。」

流星ステルス攻撃機

亜由美

「うゝん……………」

作者

「どうされました？ 亜由美様」

亜由美

「何か疲れた」

作者

「そうおっしゃられても……………」

亜由美

「まあいいわ、早く説明して。」

作者

「了解いたしました、では」

流星ステルス攻撃機

全長18メートル

全幅15メートル

最大速度マッハ3

巡航速度マッハ1・8

武装20ミリガトリングガン1門

ウエポンベイ内蔵兵器

長距離烈火改空対艦ミサイル10発

長距離鳳火改空対地ミサイル10発

JDA M500X誘導爆弾10発

CVXクラスター爆弾10発

航続距離8500キロ

実用上昇限度19000メートル

乗員2名

ステルス能力はレーダーに映らない。

亜由美

「流星は完全な攻撃機なのね。」

作者

「はい。」

亜由美

「空対空ミサイルは搭載しないの?」

作者

「はい、先程亜由美様が言った通り完全な攻撃機です。」

亜由美

「何でそうしたの？」

作者

「現代、私が住んでる2009年の航空機はマルチロール機。いわば多任務能力のある航空機を作っています。対空任務だけでなく、対地や対艦などの任務も出来るようにして遊ぶ機体が出ないようにしています。」

亜由美

「何で遊ぶ機体が出ないようにするの？」

作者

「高い金を払って作ったのに使わなければ意味が無い。それなら多任務能力を付け、出撃数を使えば元が取れるだろうと言うことです。」

亜由美

「じゃあ、この小説の日本は凄い金持ちなのね。」

作者

「そうです。流星でも軽く100億円は超えますから。」

亜由美

「凄いわね。」

作者

「はい。」

亜由美

「私達の艦隊の轟天はもつと凄いの？」

作者

「はい、先日の本編でも少し出ましたが、光学迷彩を装備しています、まだ多くは語れませんが凄いです。」

亜由美

「楽しみね。」

作者

「そうですね。」

亜由美

「それじゃ、次回ね。」

彩雲ステルス電子攻撃機

作者

「さて今回は」

喜恵

「彩雲電子攻撃機の解説ですね？」

作者

「あつ、はい、そうです。」

喜恵

「では初めてください。」

作者

「了解いたしました、では。」

彩雲電子攻撃機

全長15メートル

全幅13メートル

最大速度マッハ3・5

巡航速度マッハ1・8

武装対レーザーミサイル10発

航続距離9000キロ

実用上昇限度18500メートル
乗員3名

ステルス能力はレーダーに写らない。

喜恵

「さて、作者さん。電子攻撃機って何ですか？」

作者

「はい、電子攻撃機は私が作った言葉ですね。電子偵察機はありますが、電子攻撃機は存在しません。」

喜恵

「どう違うんですか？」

作者

「言葉通り、電子攻撃機は対レーダーミサイルを使い敵の電子機器を攻撃、破壊します。電子偵察機はまあ、電子機器を使い偵察します（こんな説明であってるかな？）」

喜恵

「ふーん、そうなんですか。」

作者

「そうです。」

喜恵

「電子偵察機は対レーダーミサイルを装備してないんですか？」

作者

「いいえ、電子偵察機も対レーダーミサイルを装備しています。」

喜恵

「まあ、いいです。」

作者

「……………」

喜恵

「それでは皆様、また次回に。」

天山早期警戒機

早紀

「さて、説明を始めようか作者。」

作者

「了解いたしました、では。」

天山早期警戒機

全長15メートル

全幅18メートル

最大速度マッハ2・8

巡航速度マッハ1・3

航続距離10000キロ

実用上昇限度18800メートル

乗員4名

作者

「……………」

早紀

「特に説明しないといけない事はないわね。」

作者

「確かにそうですね。」

早紀

「じゃ、本編の話を。」

作者

「了解いたしました。」

早紀

「次回、やっと第三次世界大戦が勃発するのね？」

作者

「はい、やっと勃発します。」

早紀

「長かったわね。」

作者

「伸ばしに伸ばしましたからね。」

早紀

「目標は100部超えだもんね。」

作者

「そうです、やっと次回で5分の1です。」

早紀

「けど100部が目標じゃないんでしょう？」

作者

「はい、100部を超えますから正直何部まで行くかわ、分かりません。」

早紀

「第一部があんな事になったから第二部は頑張りなさいよ。」

作者

「勿論です。あつ、それと早紀様に吉報です。」

早紀

「何が？」

作者

「次々回、やっと早紀様たち第七独立機動艦隊が登場します。」

早紀

「やっと、でれるのね。」

作者

「はい。」

早紀

「全く、古畑任三郎並に登場が遅いんだから。」

作者

「すいません。」

早紀

「まあいいわ、でれるんだから。」

作者

「はい、それに次々回から登場と言う事はやっと早紀様達を解説出来ます。」

早紀

「そうなるわね。」

作者

「はい。」

早紀

「それじゃ、頑張りなさい。」

作者

「了解いたしました。」

早紀

「じゃあね、バイバイ。」

超弩級イージス原子力機攻戦艦大和級

作者

「さて、ついに大和級の解剖です。」

早紀

「長かったわね。」

作者

「申し訳ありません。」

早紀

「まあ、いいけどね。」

亜由美

「だけど、今回は長いな。」

喜恵

「確かに、無駄に長いような。」

早紀

「まあ、第一部が短かったのよ。」

レナ

「そうですね、そのせいで私達は名前さえ出なかったんですよ。」

リンダ

「そうですね、これはどう言う事ですか？」

作者

「あつと、レナ様は太平洋戦争中に英東洋艦隊の旗艦プリンスオブウェールズの艦魂で、リンダ様は同艦隊のレパルスの艦魂です。両艦とも第七独立機動艦隊が鹵獲してウェールズは近江にレパルスは尾張に改名しました。」

レナ

「説明はいいです、落とし前はとう取るんですか。」

作者

「いや、あの……………」

リンダ

「どうしますか？」

作者

「いや……………」

レナ・リンダ

「落とし前はとうするんじゃ、われ……………指詰めるか1本だすかせんかい……………」

作者

「ぎゃ……………」

早紀

「さて、作者が死んだから私が説明するからね。」

超弩級イージス原子力機攻戦艦大和級

全長580メートル

最大幅95メートル

速力45ノット

武装

58センチリニアガン3連装4基12門

25センチリニアガン3連装2基6門

18センチHEL砲単装20基20門

烈火対艦ミサイル20連装発射機80基

鳳火巡航ミサイル20連装発射機80基

VLS式スタンダードSM4龍鬼対空ミサイル580セル

桜花対空ミサイル20連装発射機40基

風火近接対空ミサイル10連装発射機40基

天雷対潜ミサイル20連装ランチャー20基

50ミリCIWS40基

VLS式空竜Xレーザー水爆弾道ミサイル40セル

185センチリニアカノン単装1基1門

搭載機

雷電ステルス垂直離艦戦闘攻撃機20機

牙鬼Z戦闘ヘリコプター15機

彗星哨戒ヘリコプター15機

満載排水量285300トン

同型艦大和・武蔵・信濃・近江・尾張

特殊装備シロドリカルバウ・バウスラスター・イージスシステム・

飛翔・魔射・天神・飛翔エネルギー投射パラボラアンテナ・軍神・
荒神・極式電磁装甲

早紀

「凄い！！！！」

亜由美

「デカ過ぎ。」

喜恵

「これは……………」

レナ

「日本って凄いね。」

リンダ

「金がアホみたいに掛かったんじゃない？」

作者

「そうですね、大和級1隻で中流国の国家予算が吹っ飛びます。」

早紀

「そりゃこれだけあるとね。」

作者

「大和級1隻で1国の海軍戦力を凌駕します。」

早紀

「何とまあ、たまげた。」

作者

「搭載機の雷電は第七独立機動艦隊専用機の為、空軍戦力を凌駕します。」

亜由美

「けど、由香（大和改）達の方が凄いでしょ？」

作者

「そうです。やろうと思えば世界各国の空軍とやり合えます。」

早紀

「すごいわね。けど水爆を搭載してるの？」

作者

「そうです。」

喜恵

「危ないんじゃない？」

作者

「大和級の防御力は極式電磁装甲を使用しなくてもレアメタル2を装甲に使っている為、被害は皆無です。」

リンダ

「沈めるには水爆を使わないと。」

作者

「それも無理です。」

レナ

「飛翔を装備しているから地球上何処にでも空間転移出来る。」

作者

「そうです、命中する直前に空間転移するためどうしようもないです。」

レナ

「無敵ね。」

作者

「そうです。大和級、いえ第七独立機動艦隊を沈める艦隊は地球上存在しません。」

早紀

「無敵。」

作者

「これだけは言えます。」

一同

「何？」

作者

「日本に齒向かう者、必ず滅ぶであろう。」

イージス原子力機攻戦艦大和級の戦闘能力を5段階評価。

速力 5

現在就役している海上戦闘艦では最大級の艦だが、核融合炉改を装備しているため速力は速い。

対艦 5

主砲の58センチリアガンや185センチリアカノンもそうであるが、鳳火巡航ミサイルも対艦に転用出来るため非常に対艦能力が高い。

対潜 5

対潜専用の武装として天雷対潜ミサイルを装備しているほか、彗星哨戒ヘリコプターを運用出来るため対潜能力も高い。

対空 5

その武装のほとんどをやろうと思えば、対空に利用出来るため非常に能力が高い。

対地 5

58センチリアガンを差し置いて、185センチリアカノンと

VLS式空竜Xレーザ水爆弾道ミサイルを装備しているため非常に能力が高い。

総合5

対艦・対空・対潜・対地全てにおいて能力が高い。
まさに世界最強の海上戦闘艦と言えるだろう。

超弩級イージス原子力空母大和改級

作者

「さて、今回は超弩級イージス原子力空母大和改級の解説です。」

由香

「作者、説明をおっぱじめよう。」

作者

「了解しました。」

綾夏

「始めよう。」

理華

「出来れば早く始めていただきたいです。」

ルリ

「はじめてよう。」

ルナ

「はじめて」

作者

「了解しました。ではどうぞ。」

超弩級イージス原子力空母大和改級

全長485メートル

最大幅110メートル

速力45ノット

武装

30センチリニアガン単装1基1門

15センチHEL砲単装20基20門

桜花対空ミサイル20連装発射機10基

風火近接対空ミサイル10連装発射機10基

40ミリCIWS20基

搭載機

轟天ステルス戦闘機80機海王ステルス攻撃機80機心神ステルス

攻撃機60機嶺花ステルス電子攻撃機50機

星雲早期警戒機30機

邪鬼Z戦闘ヘリコプター55機

彗星哨戒ヘリコプター55機

深山大型輸送ヘリコプター10機

春嵐輸送ヘリコプター10機

満載排水量235800トン

同型艦大和改・武蔵改・信濃改・海神・風神

特殊装備シリンドリカルバウ・アングルドデッキ・バウスラスト・

リニアカタパルト・イージスシステム・飛翔・魔射・天神・軍神・

荒神・極式電磁装甲

作者

「以上が超弩級イージス原子力空母大和改級の概要です。」

由香

「デカ!!!!!!」

作者

「そうですね。」

綾夏

「そうですねって、あんたね。」

作者

「すいません。」

理華

「しかし、最大幅110メートルって凄いですね。」

作者

「そうですね。しかしこの最大幅は甲板幅です。艦幅は90メートルです。」

ルリ

「それでも90メートルありますよ?」

作者

「あつ、ルリ様は旧大英帝国東洋艦隊空母インドミダブルの艦魂です。ルナ様も同じく旧大英帝国東洋艦隊フォーミダブルの艦魂であります。」

ルリ

「……………90メートル」

作者

「止めてください。HEL砲はそんな使い方はしません。」

ルナ

「姉に指図する気か？」

作者

「嫌っ！……だから何でリニアガンが……」

キュイイイイイン

作者

「充電しないでください。」

由香

「問答無用！！！！全艦発射！！！！」

シュパアアアアン

作者

「ギャ~~~~~」

理華

「それでは皆様、失礼します。」

超弩級イージス原子力空母大和改級の性能を5段階評価

速力5

超弩級イージス原子力機攻戦艦大和級に準じる排水量であるが、核融合炉を装備しているため45ノットの速力を得た。

対艦5

個艦武装もリニアガンを装備しており、十分な打撃力を有している。そして何より艦載機の轟天ステルス戦闘機・海王ステルス攻撃機・心神ステルス攻撃機・邪鬼Z戦闘ヘリコプターを対艦戦闘に振り分けたときの打撃力は計り知れない。

対潜5

彗星哨戒ヘリコプターを55機搭載しており、えげつない対潜任務を行える。

対空5

個艦武装もHELL砲・桜花対空ミサイル・風火近接対空ミサイル・40ミリCIWSを装備しており単艦行動も可能だ。轟天ステルス戦闘機を80機搭載しており、対空・制空任務も完璧にこなす。

対地5

リニアガンもそうであるが、搭載機全てによる対地攻撃は圧巻である。深山大型輸送ヘリコプター・春嵐輸送ヘリコプターを使用してのヘリボーン作戦も可能だ。

イージス原子力巡洋艦最上級

作者

「今回は最上級の解説です。」

望

「作者、何だこの扱いは！！！！！」

作者

「いやまあ、その。」

愛美

「死ぬか？」

作者

「それは丁重にお断りします。」

裕香

「本編での登場回数がびっくりするほど少ない。」

作者

「それは、すいません。」

志保

「しかも、艦魂そのものが登場してないじゃない。」

作者

「……………」

千穂

「極上艦魂会を脱退して正解だ。」

作者

「ひどい。」

望

「全然酷くない。」

愛美

「当然の判断だ。」

作者

「糞っ!!!!!!!!!!」

裕香

「どついつ口の聞き方をしているのかしら。」

作者

「もう手遅れだ、覚悟!!!!!!!!!!」

志保

「ついに頭が狂ったな。」

千穂

「お前が死ね。」

作者

「いや、リニアガンは止めて。」

望

「もう遅い、貴様が招いたのだ。」

作者

「だからって25センチリアガン20門はないでしょう。」

愛美

「あると思います。」

作者

「ない!!!!!!」

裕香

「問答無用!!!!!!」

望

「発射!!!!!!」

作者

「ギャ~~~~」

望

「さて、作者が消えたから私が説明するわ。」

愛美

「姉さん、任せるわ。」

イージス原子力巡洋艦最上級

全長350メートル

最大幅55メートル

速力45ノット

武装

25センチリニアガン連装2基4門

13センチHEL砲単装10基10門

烈火対艦ミサイル16連装発射機30基

鳳火巡航ミサイル16連装発射機30基

VLS式スタンダードSM4龍鬼対空ミサイル280セル

風火近接対空ミサイル10連装発射機10基

天雷対潜ミサイル16連装ランチャー6基

25ミリCIWS10基

搭載機

彗星哨戒ヘリコプター5機満載排水量35800トン同型艦最上・

鳥海・青葉・松島・高雄

特殊装備シリンドリカルバウ・イージスシステム・飛翔・魔射・天
神・軍神・荒神・極式電磁装甲

イージス原子力駆逐艦雪風級

作者

「今回は雪風級を解説です。」

由美

「作者さん。」

作者

「何でしょう?」

由美

「本編ですが、何時になったら再び出られるのでしょうか?」

作者

「……………」

亜紀

「今後どうしますか?」

美紀

「早く出さないと、手遅れになりますよ。」

作者

「すいません。」

美香

「まあ、理由は分かりますが。」

作者

「うっ。」

渚

「出して下さいよ。」

作者

「分かってます。上海上陸作戦ではちゃんと登場しますから。」

由美

「なら良いです。」

作者

「ありがとうございます。」

由美

「ですが、今後とも……………」

早紀

「由美……」

由美

「早紀司令。」

早紀

「由美、フッフ。」

由美

「部屋へ行きますか？」

早紀

「フッフ、行きましょう。」

由美

「はい。」

亜紀

「あの2人は相思相愛になりましたね。」

作者

「そうですね。何十年も一緒にいたんですから。」

美紀

「まあ、私達も別に慣れたからね。」

作者

「そうですね。」

渚

「早く、説明して。」

作者

「了解しました。では。」

イージス原子力駆逐艦雪風級

全長280メートル

最大幅35メートル

速力45ノット

武装

18センチリニアガン単装1基1門

10センチHEL砲単装8基8門

烈火対艦ミサイル14連装発射機15基

鳳火巡航ミサイル14連装発射機15基

VLS式スタンダードSM4龍鬼対空ミサイル250セル

風火近接対空ミサイル10連装発射機10基

天雷対潜ミサイル10連装ランチャー10基

20ミリCIWS8基

搭載機

彗星哨戒ヘリコプター3機満載排水量28300トン同型艦雪風・

谷風・初風・海風・山風

特殊装備シンドリカルバウ・イージスシステム・飛翔・魔射・天

神・軍神・荒神・極式電磁装甲

原子力強襲揚陸艦久重級

作者

「今回は久重級の解説です。」

明日香

「皆さん、はじめまして。原子力強襲揚陸艦久重の艦魂明日香です。」

作者

「えー、原子力強襲揚陸艦久重級の艦魂は全て初登場ですので、挨拶をさせていただきます。」

春子

「原子力強襲揚陸艦金蜂の艦魂です。よろしくお願いします。」

奈津美

「原子力強襲揚陸艦志布志の艦魂です。よろしく。」

彩

「原子力強襲揚陸艦博多の艦魂です。お見知りおきを。」

亜弥

「原子力強襲揚陸艦別府の艦魂です。よろしくね。」

美樹

「原子力強襲揚陸艦久留米の艦魂だ。よろしく。」

絵梨香

「原子力強襲揚陸艦松橋の艦魂です。よ、よろしくお願いします。」

日登美

「原子力強襲揚陸艦荒尾の艦魂だ。覚えとけ。」

梨華

「原子力強襲揚陸艦伊万里の艦魂です。よろしく。」

有紗

「原子力強襲揚陸艦背振の艦魂です。」

友里奈

「原子力強襲揚陸艦堂南の艦魂です。よろしくお願いします。」

千奈美

「原子力強襲揚陸艦八雲の艦魂です。」

里紗子

「原子力強襲揚陸艦国後の艦魂です。よろしく。」

知里

「原子力強襲揚陸艦択捉の艦魂です。以後お見知りおきを。」

夏音

「原子力強襲揚陸艦由布の艦魂です。よろしくお願いします。」

作者

「さて、挨拶が終わったので説明します。」

原子力強襲揚陸艦久重級

全長350メートル

最大幅50メートル

速力45ノット

武装

桜花対空ミサイル16連装発射機8基

風火近接対空ミサイル10連装発射機8基

20ミリCIWS8基

搭載機

邪鬼Z戦闘ヘリコプター30機

紫電テイルローター輸送ヘリコプター30機

雷電ステルス垂直離艦戦闘攻撃機30機

春嵐輸送ヘリコプター20機

深山大型輸送ヘリコプター20機

満載排水量75000トンLCCAC10隻

戦車30輜

装甲車30輜

自走リニアガン20輜

自走ロケット砲15輜

トラック65輜

補給車40輜

揚陸軍1個師団

以上を搭載可能

同型艦久重・金蜂・志布志・博多・別府・久留米・松橋・荒尾・伊

万里・背振・堂南・八雲・国後・択捉・由布
特殊装備シロドリカルバウ・飛翔・天神・軍神・荒神・極式電磁
装甲

航海・指揮用アイランド、航空管制用アイランドの2つに分かれた
2アイランド型強襲揚陸艦である。

原子力潜水艦隠岐級

作者

「今回は隠岐級の解説です。」

舞

「作者さん。」

作者

「何でしょう?」

舞

「出番少ないです。」

作者

「すいません。」

乱

「どうするんですか?」

作者

「本当にすみません。」

華

「最近、紺碧の艦隊原作小説をもう一度読み始めたみたいですが、潜水艦の活躍の場を増やしてみたいですね。」

作者

「はい。沈黙の艦隊もそうですが、潜水艦はなかなかの兵器ですからね。空挺師団みたいにツボにハマれば強力な兵器になります。」

舞

「あんたの、文章力がカギになります。」

作者

「分かってます。」

乱

「分かればよい。」

華

「頑張ってください。」

作者

「華様。」

舞

「はい、説明する。」

作者

「了解しました。」

原子力潜水艦隠岐級

全長250メートル

最大幅35メートル

速力

(水上) 50ノット

(水中) 53ノット

武装

850ミリ音響ホーミング魚雷発射管12門

VLS式スタンダードSM4龍鬼対空ミサイル50セル

VLS式鳳火巡航ミサイル50セル

満載排水量

(水上) 45300トン

(水中) 49500トン

同型艦隠岐・佐渡・対馬

特殊装備飛翔・天神・軍神

ソナー音波を完全に吸収する外殻を装備しているため完全な水中ステルス機能を持っている。

イージス原子力特装潜水戦艦高天原級（前書き）

久しぶりの更新です。

イージス原子力特装潜水戦艦高天原級

作者

「え、今回は第八特務機動艦隊主力艦、高天原級の説明です。」

真桜

「おい、死ぬか？」

作者

「真桜さん、いきなり何ですか？」

真桜

「本編での扱いは何だ？」

愛理

「何をふざけた事をしている。」

千夏

「死ぬか？」

作者

「え、皆様には分からないかも知れませんが説明します。真桜様がイージス原子力特装潜水戦艦高天原の艦魂、愛理様がイージス原子力特装潜水戦艦高天原の艦魂、千夏様がイージス原子力特装潜水戦艦高地原の艦魂。まあ、知らなくて当たり前ですね。何せ本編では登場回数は、ほぼ皆無ですからね。ハハハ、ハ、ハ………」

真桜

「もう許さん。」

愛理

「どうなるか分かってるな？」

千夏

「姉を侮辱する行為は許さん。」

作者

「な、何をするのですか？」

真桜

「たっぷり可愛がってあげる。」

作者

「やつ、そんな。」

愛理

「死ね～～」

作者

「ギャ～～～～」

早紀

「何か、作者が真桜ちゃん達に殺されているから私が説明するわ。」

イージス原子力特装潜水戦艦高天原級

全長380メートル

最大幅70メートル

速力（水上）40ノット

（水中）45ノット

武装

51センチリニアガン3連装4基12門

15センチHEL砲単装10基10門

烈火対艦ミサイル16連装発射機60基

鳳火巡航ミサイル16連装発射機60基

VLS式スタンダードSM4龍鬼対空ミサイル440セル

45ミリCIWS20基

シンドリカルバウ800ミリ音響ホーミング魚雷発射管8門

搭載機

彗星哨戒ヘリコプター10機

満載排水量 198500トン

同型艦

高天原・高中原・高地原

特殊装備

シリンドリカルバウ・バウスラスタ・イーゼスシステム・飛翔・

魔射・天神・軍神・荒神・極式電磁装甲特殊能力

潜水

第八特務機動艦隊の主力艦。

世界唯一の潜水戦艦として、活躍している。

早紀

「まあ、こんなもんね。あのバカ作者も、死んだみたいだから私も帰るね。」

真桜

「バカが。」

愛理

「アホが。」

千夏

「情けない。」

作者

「あ、グハッ!!」

早紀

「死んだわね。」

イージス原子力特装潜水空母高空原級

作者

「今回は、第八特務機動艦隊の機動源、高空原級の説明です。」

仁美

「作者さん。」

作者

「はい!!何でしょうか?」

沙野子

「私達の出番ですが。」

作者

「出番を?」

裕子

「ふ・や・し・て。」

作者

「はい!!もちろん増やします!!お3人様のためなら増やします。」

「

仁美

「フッフ、約束よ?」

作者

「もちろんです!!」

沙野子

「なら、私達も怒りませんわ。」

作者

「ありがとうございます。」

裕子

「これからも頑張ってくださいね。」

作者

「頑張ります。」

仁美

「それじゃあ、説明をお願いね。」

作者

「はい!!」

イージス原子力特装潜水空母高草原級
全長400メートル
最大幅85メートル
速力(水上)40ノット
(水中)45ノット

武装

10センチHEL砲单装10基10門

35ミリCIWS10基

搭載機

轟天ステルス戦闘機50機海王ステルス攻撃機50機心神ステルス

攻撃機30機嶺花ステルス電子攻撃機30機

星雲早期警戒機30機

邪鬼Z戦闘ヘリコプター30機

彗星哨戒ヘリコプター30機

満載排水量

193500トン

同型艦

高空原・高海原・高陸原

特殊装備

シリンドリカルバウ・アングルドデッキ・バウスラスター・リニア

カタパルト・イージスシステム・飛翔・魔射・天神・軍神・荒神

特殊能力

潜水

世界唯一の潜水空母。

作者

「説明終わりましたよ。」

仁美

「あら、ありがとう。」

沙野子

「フッフ、ありがとう。」

裕子

「頑張ってくださいね。」

作者

「はい!!」

轟天ステルス戦闘機

作者「久しぶりの兵器解剖です。」

亜由美「本当に久しぶりの、兵器解剖ね。」

作者「確かに久しぶりです。」

亜由美「それよりも、あんたも大変ね。」

作者「何がですか？」

亜由美「メッセージ。」

作者「ああ、そうですね。そればかりは。」

亜由美「どうにもならない？」

作者「はい。」

亜由美「まあ、頑張rinaさい。」

作者「頑張ります。」

亜由美「それじゃ、説明を。」

作者「了解いたしました。それでは。」

轟天ステルス戦闘機

全長35メートル

全幅20メートル

最大速度マッハ3・8

巡航速度マッハ2・5

武装

38ミリレーザーガトリングガン1門

ウエポンベイ内蔵兵器

長距離桜花改空対空ミサイル20発

JDA M500X誘導爆弾15発

CVXクラスター爆弾15発

特殊兵器

戦略レーザー砲1門

航続距離

実用上昇限度58300メートル

乗員1名

特殊装備

光学迷彩

第七独立機動艦隊・第八特務機動艦隊専用の第7世代戦闘機である。ステルス性・戦闘能力・機動力・スピード全てにおいて、陣風をしのいでいる。つまりは、世界最強。

戦略レーザー砲は機上搭載型のHEL砲である。

レーザーを発生させる電力を作るため、轟天には超小型の核融合エンジンが搭載されている。

簡単に言えば、原子力航空機。

核融合エンジンを搭載したため、航続距離が になった。

ステルス性に至っては光学迷彩を装備したため、本当に消える事が出来る。

レーダー・肉眼双方で捕捉不可能。

亜由美「凄い戦闘機ね。」

作者「はい。轟天は、エースコンバットXスカイズ・オブ・デセプションに登場する、ADF-01FALKENそのままですね。」

亜由美「あんな形で、ステルス性なんてあるの？」

作者「まあ、それはステルス技術が高いですから、あんな形でも大丈夫でしょう。」

亜由美「まあ、良いわ。」

作者「ありがとうございます。」

亜由美「それじゃ、この辺で。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8051f/>

日本連邦軍最新兵器解剖

2010年10月10日03時10分発行